

項目		
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	重粒子線治療の医療経済的調査に関する研究
	研究目的	重粒子線治療の医療経済について調査研究を行うことにより、治療施設の安定経営に資する保険評価を探るとともに、今後の診療報酬改定に関する基礎資料の作成を行う。方法は、重粒子線治療施設の医療費原価調査として、患者ごとの医療収入調査：重粒子線治療費とそれに直接関連するものだけを当該施設の医事会計システムより抽出、コスト調査：カルテに記録された診療行為、検査や治療内容からの労務費・材料費・諸経費・減価償却費等について稼働率を考慮した按分計算を行い、症例ごとのコストを算出する。
	研究対象者	2018年4月～2020年3月に当センター放射線治療科にて重粒子線治療を受けた患者さん
	研究期間	西暦 2020年12月7日～西暦 2022年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	鎌田 正
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東京大学大学院 量子科学技術研究開発機構 QST 病院 群馬大学医学部附属病院 兵庫県立粒子線医療センター 九州国際儒粒子線がん治療センター 大阪重粒子線センター